



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月1日
上場取引所 東

上場会社名 神鋼商事株式会社
 コード番号 8075 URL <http://www.shinsho.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森地 高文
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 濱村 和裕 (TEL) 03-3276-2036
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	712,650	2.8	6,391	8.0	6,601	0.9	4,059	△11.1
2018年3月期第3四半期	693,326	25.5	5,917	80.5	6,544	68.3	4,566	66.3

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 2,827百万円 (△52.8%) 2018年3月期第3四半期 5,993百万円 (503.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	458.46	—
2018年3月期第3四半期	515.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	305,686	54,946	17.2
2018年3月期	283,672	53,725	17.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 52,559百万円 2018年3月期 50,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	45.00	—	65.00	110.00
2019年3月期	—	55.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	945,000	1.7	7,500	△7.6	8,000	△7.2	5,500	0.9	621.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」及び添付資料2ページの「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期3Q	8,860,562株	2018年3月期	8,860,562株
2019年3月期3Q	5,618株	2018年3月期	5,596株
2019年3月期3Q	8,854,954株	2018年3月期3Q	8,854,505株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2018年4月1日～2018年12月31日）における世界経済は、着実に拡大が続く米国経済に加え、アセアン諸国をはじめとする各国にも引き続き成長が見られるなど、緩やかな回復が続きました。わが国経済は、企業収益の改善に伴い、引き続き雇用・所得環境に好調な動きが見られるなど、回復基調で推移しましたが、米中の貿易摩擦による中国経済の減速や円高等への懸念もあり、景気の先行きは不透明な状況となっています。

このような環境の下、当社グループは鉄鋼セグメントを中心に堅調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,126億50百万円（前年同四半期比2.8%増）、営業利益は63億91百万円（同8.0%増）、経常利益は66億1百万円（同0.9%増）となりましたが、当社が保有する投資有価証券のうち時価が著しく下落したものを特別損失として10億80百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は40億59百万円（同11.1%減）となりました。

事業セグメント別の主な営業状況は、以下のとおりです。

①鉄鋼セグメント

鋼板製品は国内向け・輸出向けともに、取扱量が減少しましたが、価格は市況の影響により上昇しました。線材製品は国内向けの取扱量は横ばいとなり、価格も前年同期並みとなりました。輸出向けは取扱量が横ばいとなりましたが、価格は若干上昇しました。海外においては、米国を中心とした連結子会社の業績が、堅調な需要に支えられたことにより、総じて好調に推移しました。

この結果、売上高は2,729億31百万円（前年同四半期比7.5%増）となり、セグメント利益は34億69百万円（同13.9%増）となりました。

②鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料は価格が堅調に推移しましたが、粗鋼生産量の減少等により取扱量が減少しました。冷鉄源及び合金鉄は取扱量が増加し、価格も上昇しました。チタン原料は取扱量が横ばいとなり、価格は上昇しました。

この結果、売上高は2,214億55百万円（前年同四半期比2.3%減）となり、セグメント利益は8億75百万円（同2.8%減）となりました。

③非鉄金属セグメント

銅製品は空調用銅管及び自動車向け端子材用銅板条は取扱量がほぼ横ばいとなり、半導体向け銅板条の取扱量は減少しました。アルミ製品は自動車向けアルミ板条及び押出材の取扱量が増加しましたが、液晶製造装置向け厚板・加工品や鉄道車両向けアルミ押出材の取扱量が減少しました。非鉄原料は銅スクラップ及びアルミスクラップの取扱量は減少したものの、アルミ地金及びアルミ再生塊の取扱量が増加しました。

この結果、売上高は1,840億75百万円（前年同四半期比2.0%増）となりましたが、セグメント利益は13億68百万円（同25.7%減）となりました。

④機械・情報セグメント

機械製品は産業機械用ブレーキの取扱いが減少しましたが、大型圧縮機、ゴム・タイヤ機械、熱処理炉、建設機械部品等の取扱いは増加しました。情報関連商品は半導体関連装置等の取扱いは増加しましたが、液晶電子材料等の取扱いが減少しました。

この結果、売上高は503億71百万円（前年同四半期比3.9%増）となり、セグメント利益は7億78百万円（同62.2%増）となりました。

⑤溶材セグメント

溶接材料は造船、建築鉄骨及び建設機械向けの取扱量は堅調に推移しましたが、化工機向けが減少しました。輸出関連は韓国向けを中心に増加しました。また、溶接関連機器は汎用溶接機及び鉄骨溶接ロボットシステムの取扱いが堅調に推移しました。生産材料は溶剤原料の取扱量が増加しました。

この結果、売上高は333億9百万円（前年同四半期比6.9%増）となり、セグメント利益は1億21百万円（同148.9%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

投資有価証券の減損処理については、四半期洗替え方式を採用しており、今後、損失計上額が変動する場合があります。なお、2019年3月期の業績予想につきましては、他の要因を含め、業績予想の修正が必要と判断される場合は、確定次第速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,023	10,435
受取手形及び売掛金	165,824	183,857
電子記録債権	8,102	9,423
商品及び製品	32,323	41,401
仕掛品	510	555
原材料及び貯蔵品	1,032	1,844
前払金	8,816	11,222
その他	3,776	4,503
貸倒引当金	△105	△112
流動資産合計	239,304	263,130
固定資産		
有形固定資産	8,943	8,472
無形固定資産	659	673
投資その他の資産		
投資有価証券	31,576	29,699
その他	3,618	4,113
貸倒引当金	△429	△402
投資その他の資産合計	34,764	33,410
固定資産合計	44,367	42,555
資産合計	283,672	305,686
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	129,311	135,249
電子記録債務	14,415	16,434
短期借入金	39,921	53,375
未払法人税等	1,393	165
賞与引当金	1,048	560
その他	19,231	21,693
流動負債合計	205,321	227,478
固定負債		
長期借入金	19,390	18,255
役員退職慰労引当金	130	87
退職給付に係る負債	887	930
債務保証損失引当金	77	77
その他	4,138	3,910
固定負債合計	24,624	23,262
負債合計	229,946	250,740

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,645	2,645
利益剰余金	38,370	41,367
自己株式	△17	△17
株主資本合計	46,648	49,645
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,338	2,496
繰延ヘッジ損益	117	35
為替換算調整勘定	734	383
その他の包括利益累計額合計	4,190	2,914
非支配株主持分	2,886	2,386
純資産合計	53,725	54,946
負債純資産合計	283,672	305,686

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	693,326	712,650
売上原価	670,636	689,026
売上総利益	22,689	23,624
販売費及び一般管理費	16,771	17,232
営業利益	5,917	6,391
営業外収益		
受取利息	73	87
受取配当金	712	797
為替差益	25	—
持分法による投資利益	627	564
雑収入	282	229
営業外収益合計	1,721	1,678
営業外費用		
支払利息	569	822
売掛債権譲渡損	292	276
為替差損	—	78
デリバティブ評価損	25	86
雑損失	206	204
営業外費用合計	1,094	1,468
経常利益	6,544	6,601
特別利益		
負ののれん発生益	90	152
特別利益合計	90	152
特別損失		
投資有価証券評価損	52	1,080
会員権評価損	3	2
特別損失合計	56	1,083
税金等調整前四半期純利益	6,579	5,670
法人税、住民税及び事業税	1,840	1,203
法人税等調整額	78	324
法人税等合計	1,918	1,527
四半期純利益	4,660	4,142
非支配株主に帰属する四半期純利益	94	82
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,566	4,059

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	4,660	4,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,491	△857
繰延ヘッジ損益	△62	△82
為替換算調整勘定	△170	△251
持分法適用会社に対する持分相当額	74	△123
その他の包括利益合計	1,333	△1,314
四半期包括利益	5,993	2,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,966	2,783
非支配株主に係る四半期包括利益	26	43

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	253,966	226,749	180,441	48,501	31,147	740,807	269	△47,750	693,326
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	7	—	18	26	—	△26	—
計	253,966	226,749	180,449	48,501	31,166	740,833	269	△47,776	693,326
セグメント利益又は 損失(△)	3,047	900	1,842	480	48	6,319	△19	244	6,544

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	272,931	221,455	184,072	50,371	33,294	762,126	287	△49,762	712,650
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2	—	14	16	—	△16	—
計	272,931	221,455	184,075	50,371	33,309	762,143	287	△49,779	712,650
セグメント利益又は 損失(△)	3,469	875	1,368	778	121	6,614	△16	3	6,601

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。一部の関係会社においては、第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。